

いま!この一冊!



『ある晴れた夏の朝』

こせまり
著：小手鞠るい

イラスト：タムラフキコ

偕成社 Y93/コ

1945年8月6日。日本、広島に世界で初めての原子爆弾が投下される。3日後、8月9日には長崎にも別の原子爆弾が投下される。日本はこれをきっかけに、ポツダム宣言を受諾、太平洋戦争は終わった。

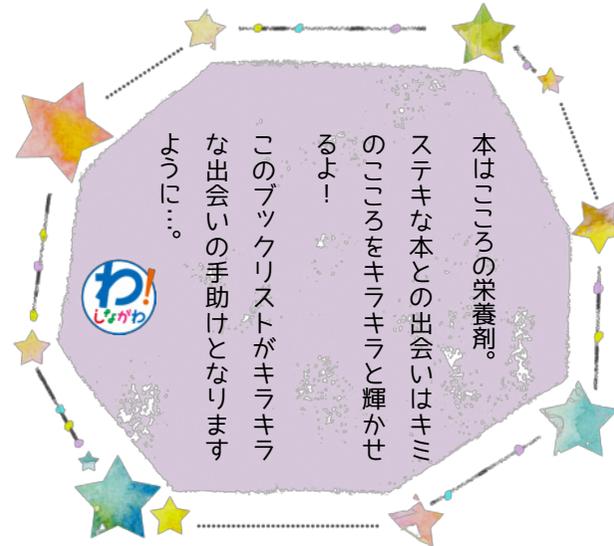
原爆は広島市民数万人の命を奪った。同時に、このため日本は敗戦を受け入れ、本土決戦で一般市民が命を落とす危険がなくなったとも言われている。

あの日の原爆とは、結局どんなものだったのか。大量殺戮兵器か、平和への切り札か。アメリカに住む、出自も思想もバラバラの高校生たち8人が、原爆否定・原爆肯定についてディベート（討論）をすることになる。その中には日系人のメイもいた。

4歳のころからアメリカで育ったメイは、日本の思い出がほとんどない。原爆や平和についてもよく知らない、深く考えたことがない。なのに、ひょんなことから「原爆否定派」としてディベートに参加することになってしまった。

原爆、ひいては太平洋戦争についてを調べた8人が、様々な意見をぶつけあうディベートの中で、メイは自分にできる平和への一歩を模索していく……。

濃密な取材を背景に、広島への原爆投下を「アメリカ」の視点からたどる、あの夏の日の物語。



図書館おすすめブックリスト



キラ
キミのこころに☆めきを☆
中学生



れもん 『檸檬』

かじいもじじろう
著：梶井基次郎

絵：げみ 立東舎 Y93/オ

2021年、生誕120年を迎えた梶井基次郎の代表作「檸檬」が、人気イラストレーターとコラボ!

「えたいの知れない不吉な塊」に心を圧迫されるばかりの主人公。どんな美しい音楽にも詩にも癒されず、街を彷徨う。そんな中で訪れたある果物屋で、主人公は檸檬を見つけた。檸檬にふれていると不吉な塊は落ち着いていく。晴れやかな気分になった主人公は、気づけば京都丸善の前に立っていて……

捉えどころのない不安を持って余し、たわいもないことにそれを慰められる。100年前の文豪の文章の中にも、今の自分と同じ悩みを見つけることができる?

2021年夏号

編集・発行：五反田図書館



『その道のプロに聞く
生きもののワオ！
知ってそうで知らない豆知識』
著：松橋利光 大和書房 Y/48

- ・ヘビは思った以上に胴長。
 - ・カメレオンの体の色って、背景との保護色じゃなくて気分。
 - ・オカメインコはインコじゃない。
- 小さい頃から信じていた動物の常識がひっくり返る！ うそだろカメレオン!! というかインコ?? もう何を信じればいいの。

水族館勤務経験のある生きものカメラマンが、生き生きした写真と一緒に様々な動物の豆知識を紹介。



『私立シードゥス学院 |
小さな紳士の名推理』
著：高里椎奈 KADOKAWA YB/93/9/1

13歳から17歳までの男子が集う、全寮制の学舎・私立シードゥス学院。時が止まったように古めかしい学舎の中で、事件が起きた。

寮のどこからか聞こえる声。暗闇に潜む存在。腐った実が残された理由。そして殺人未遂。

学院という閉じた世界の中で起きるいくつもの謎を、獅子王、弓削、日辻の1年生3人が追う。やがて全ての伏線は一つに繋がっていき……。



『ネバームーア |
モリガン・クロウの挑戦』
著：ジェシカ・タウンゼント 訳：田辺千幸 早川書房 Y93/9

海外で多くの賞を受賞した、厚重的ファンタジー冒険物語。

モリガン・クロウは、世界中の不幸の原因を押し付けられた女の子。11歳になったら死ぬ運命にある。

家族からも見放されたモリガンだったが、謎の青年・ジュピターに連れられ、魔法都市ネバームーアにやってくる。このままこのネバームーアにいたいと願ったモリガンは、『輝かしき結社』の入会試験に挑むことになって……。



『気候変動に立ちむかう子どもたち
世界の若者60人の作文集』
編：アクシャート・ラーティ 訳：吉森葉 太田出版 Y/51.9

地球温暖化。気候変動。地球の寿命を削る環境問題。大人がずっと持て余してきたこの問題へ、自ら考え、行動を起こしている11歳から30歳までの若者たち60人が叫ぶ。

自分の故郷の海を守りたい。動物たちが傷つくのを見たくない。これ以上異常気象が激しくなるのを防ぎたい。

大人が逃げ切った後の地球を押し付けられる前に、今できることで抗おうとする若者の言葉を聞いてください。



『強制終了、いつか再起動』
著：吉野万理子 講談社 Y93/30

大麻。MDMA。危険な薬物が潜んでいるのは、僕たちから切り取られた別の世界じゃない。

転校先の学校になじめない中学生の加地隆秋は、ある日、家庭教師から大麻を譲り受ける。

吸引すると気持ち明るくなり、同級生とはじめて楽に話することができるようになった。そこから大麻にのめり込んでいく加地だが、親しくなった同級生の2人が、彼の様子がおかしいことに気づいてしまう。



『敗者烈伝』
著：伊東潤 実業之日本社 Y28

古代から平安、戦国から江戸、幕末に至るまでの長い日本史の中には、人々のトップに立った時代の勝者たちがいた。

ってことは当然、敗者もいた！ 誰もが知っている源義経、織田信長、西郷隆盛も、最後は歴史の波に沈んだ敗者たちばかり。

その歴史的敗北の原因とは？ 一体何が悪かった？ 時流？ 運？ 相手？



『さよなら
最後の恋と、巡る夏』
著：優衣羽 ポプラ社 YB93/ユ

田舎から都内の大学に進学しても、何をしたいのかははっきりしない日々を無為に送る大晴。その夏帰省した田舎で、幼馴染で初恋の相手だった黎夏と7年ぶりに再会した。

「大晴が何をしたいか、この夏の間に見つけよう」と、大晴と黎夏は二人だけで「冒険」を始める。かつての秘密基地や古い神社をめぐるうち、大晴は不思議な夢を見るようになっていく。その夢は、黎夏を抱える残酷な秘密につながっていた……。



『ミステリ仕掛けの英単語』
原案：桃戸ハル 英文：メディアビーコン 学研プラス YB9

「犯人はこの中にいる」を英語で言えますか？ ……どんなシチュエーションだよ。

「5秒後に意外な結末」シリーズの超ショートショートストーリーで、英語がわかる！

サクサク読める短編ミステリーを駆け抜けたら、ストーリーの英文訳と、物語に登場する謎めいた単語の解説へ。

本のそこかしこに、謎と伏線、つながりが隠されています。繰り返し読み込むたびに、新しい発見があるかも？



『ハジメテヒラク』
著：こまつあやこ 講談社 Y93/コ

中1女子×花道×脳内実況！

心の声がうるさい主人公・綿野あみは、どさくさで真実学園の花道部に入部する。

花道初心者、骨折中。だけど仲間たちと一緒に文化祭入賞するため、自分には何が出来るだろう。人と積極的に関わることが苦手なあみは、「実況」という武器を使うことにした！

途切れない声に応援されているうちに、だんだん元気が出てくる小説。